

<p>関係法規</p> <p>○日本国憲法 ○教育基本法 ○改正学習指導要領</p> <p>○県教育目標「有徳の人」づくりアクションプラン</p> <p>○伊豆の国市教育大綱</p> <p>人を大切にできる“ひと”づくり</p> <p>ふるさとを誇れる“ひと”づくり</p> <p>世界にはばたく“ひと”づくり</p>	<p>学校教育目標</p> <p>自分の良さを生かし</p> <p>共に学び やりぬく子</p>	<p>大仁中学校区道徳教育推進研修主題</p> <p>豊かな感性をはぐくみ、 ともによりよく生きる児童・生徒の育成 ～内省と実践をつなぐ道徳教育を目指して～</p>
<p>生徒の実態・保護者、教職員の願い</p> <p>児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> 責任感があり、進んで働くことができる。 運動や遊びなどで、進んで体を動かすことができる。 よく考え、自分で判断し、行動することが課題である。 <p>保護者・教職員の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> 思いやりの気持ちの育成 自分で判断して、行動する力の育成 	<p>道徳教育目標</p> <p>自分を見つめ 思いやりの心をもって</p> <p>よりよく生きようとする子の育成</p>	<p>大仁中学校区目指す生徒像</p> <p>豊かな情操と思いやりの心おもち、集団や社会の一員として自ら考え判断し行動できる生徒</p>
		<p>研修主題</p> <p>価値を焦点化し、議論する道徳の授業を通して、発達段階に応じた道徳性を養う。</p>

大仁中学校区 小中合同の重点項目			
A 善悪の判断、自律、自由と責任	B 親切、思いやり	C 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態	D 生命の尊重

各教科		道徳の時間の指導方針	
各教科の特質に応じて			
国語	登場人物や筆者の思いを考えることにより、相手のことを思いやり、親切にしようとする。(B)	・児童と教師との心の交流を図り、よりよい生き方について共に追究する。	
社会	我が国や郷土の伝統と文化を大切に、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつ。(C)	・児童理解を深め、一人一人のよさや特性を生かすような授業をつくる。	
算数	筋道を立てて考え、表現したり数理的に物事を考えたり処理したりする活動を通して、それを自分の生活に生かそうとする。(A)	・指導方法の開発に努め、学習活動の多様化に留意し、話し合い活動などを重視する。	
理科	栽培や飼育、観察等の体験活動を通して、自分と同様に生命あるものを大切にしようとする。(D)	・年間指導計画に基づいて指導するとともに、計画の評価、改善を行う。	
生活	飼育・栽培活動を通して、生命の尊さを知り、大切にしようとする。(D)		
音楽	共通教材や鑑賞曲において、日本語の語感を楽しんだり、日本の音楽の特徴を感じ取ったり、そのよさを味わったりする。(C)		
図工	友達の製作過程や作った人の気持ちを理解し、作品のよさを感じ取る。(B)		
体育	健康や安全に留意して生活をしたり、運動をしようとしたりする。(D)		
家庭	家族の役割や家庭の仕事を通じて、自律的で責任ある行動をとる大切さに気づく。(A)		
外国語	外国語を通して、我が国の言語や文化についても体験的に理解を深める。(C)		

総合的な学習の時間		特別活動	
地域の伝統、文化など、地域のよさや特色に目を向け、その特色に応じた課題を見つけ、地域における自己の生き方とのかかわり考え、よりよい解決に向けて行動しようとする。(C)		集団の中で互いのよさを認め合い、一人一人が役割や責任を果たすことで、自主的、実践的な態度を育てると共に、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。	
		学級活動	児童会活動
		当番活動や集会活動を通して、学級の一員としての役割を自覚し、進んで友達と協力する。(A) (D)	異年齢集団による交流を通して、思いやりの心をもち、仲良く協力して活動する。(B)
		クラブ活動	学校行事
		共通の興味関心を追求する集団の中で、思いやりの気持ちをもち自主的に活動に参加する。(B)	学校生活の充実と発展に資する体験的活動を通して、協力・責任・勤労・社会奉仕などの道徳性を身につける。(A)
		伝統文化を体験してよさを味わう。(C)	

人権教育		特別支援教育		キャリア教育	
一人一人がかけがえのない存在であることを強く認識し、思いを大切にしようとする。(D)		個別の指導計画、支援計画に基づいた支援に沿った学びを深め、よりよい人間関係をつくり上げる力をつける。(B)		身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。(A)	

児童理解	
児童一人一人の個性の伸長を図りながら、社会的な資質や能力、態度を育成する。将来において社会的に自己実現できる資質や能力、態度を育成していくための指導、援助を行うことで、児童一人一人の自己肯定感及び自己指導能力の育成をめざす。	
<ol style="list-style-type: none"> 児童が自己決定する場を設定する。 児童が自己肯定感を感じられる場を設定する。 教師と児童の間の信頼関係づくりを大切に、人間的なふれあいを通して共感的な理解を図る。 一人一人の人間として児童に接していく教師の態度を、好ましい人間関係を築く基本とする。 	

横の連携			縦の連携 (保幼小中)
<p>家庭との連携</p> <p>学校の道徳教育の実態について、保護者が理解を深め、基本的な生活習慣の定着や道徳実践などにおける役割を認識する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 道徳授業参観実施 道徳の授業への保護者の参加 授業参観後の懇談 学校、学年、学級、道徳だよりの発行 「私たちの道徳」 PTA役員との連携 	<p>学級・学校環境</p> <p>道徳教育における指導内容を日常生活に生かし、よりよい生き方についての自覚を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> エンカウンターを中心とした人間関係づくりプログラムの実施 教育相談週間の設定 一人一役等、係活動の充実による自己有用感が感じられる集団づくり 学級の成長、向上が成 整理整頓の徹底による学習環境の整備 	<p>小中との連携</p> <p>道徳教育の意義とねらいを周知し、共通実践を通して授業改善を行い、指導力の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業のための指導案検討会や先行授業の実施、事後研修の実施(相互授業参観) 夏休みの課題「お手伝い新聞」の実施 	<p>★目指す生徒像の共有化</p> <p>★保幼小中の道徳性連携目標</p> <p>★重点項目の共通化(連携カリキュラム)</p> <p>★保幼小中の授業交流、授業参観の実施</p> <p>★保幼小中ふれあいお手伝いノーマディイデー(地区一斉毎月第2火曜日)</p>

平成28年度伊豆の国市教育委員会における取組	
1 発達段階を考慮した、重点項目の設定(保幼小中連携教育の推進)	
2 家庭・地域との連携	
<ul style="list-style-type: none"> ★ホームページや学校だより、大仁中学区道徳だよりによる情報の発信、区長会連携) ★道徳教育実践発信「伊豆の国の教育」特集号「市教育実践発表表」 ★「道徳講演会」田方地区PTA指導者研修講演会「学力向上と家庭教育」～学力育成の基盤は道徳性から～ 	
3 道徳教育推進委員(P T A役員)の委嘱(「私たちの道徳」の活用促進)	